

紫波 8

2002
SHIWA TOWN SINCE 1955

【No.605】



◎ミ特集
夏の地産地消
分とく山・総料理長の野崎
洋光さんを迎えて、夏の素
材を使った調理講習会が開
催合わせて「環境探検隊」
の様子も紹介。



《特集》

7・11 台風6号 猛威ふるった

台風襲来



◎情報掲示板
野村胡堂生誕百二十年記念イベント
紫波町ITサポートセンター
中期スポーツ教室のお知らせ
リンゴの酒「果音の彩」発売



◎ミ特集
みんなで考えよう
市町村合併 vol.2
新農業委員の
紹介



猛威ふるった

7.11 台風6号 3

ポイント 7月11日に町に大雨をもたらした台風6号の状況を現在まとめている範囲でお伝えします。

野村胡堂生誕120周年記念

イベント 7

ポイント 胡堂の生誕120周年記念イベントが9月7日のオープニング記念イベントを皮切りに始まります。

みんなで考えよう 市町村合併 8

ポイント 6月号に続く2回目は、人口の推移を中心に長期的な展望から合併について取りあげました。

新農業委員の紹介 11

ポイント 新たに決まった26人の農業委員と新体制をお知らせします。

第31回紫波夏まつり 14

ポイント 装いも新たに行われた8月4日の夏まつりを紹介します。

夏の地産地消 16

ポイント 分とく山総料理長の野崎洋光さんが作る「夏の地産地消」講演会を写真でご覧ください。

まちの話題 18

情報掲示板 21

産直・自慢の品拝見 24



町産リンゴ一〇〇%
オリジナル酵母使用

新発売

果音の彩

町内産リンゴを一〇〇%使用したリンゴ酒「果音の彩」が、今年は町内で採取されたオリジナル酵母によっておいしく生まれ変わりました。すっきりとした味わいのフジと、コクのある甘味と酸味のバランスの良いジョナゴールドの二種類のリンゴ酒。町内産キャンベルとデラウェアのワイン「果音の滴」とあわせてお楽しみください。

●道の駅紫波のフルーツパーク交流館（赤沢）などでお求めください。

へ町長メッセージ

7・11 台風6号大雨災害に思う

「わざわざいは忘れたころにやってくる」――まさにその言葉どおりでありました。

季節はずれの六号台風と梅雨前線が重なり、予想を超える大雨が当地方を襲い、戦後三番目の雨量となりました。被害をうけた方にお見舞い申し上げますと共に、一日も早く復旧すべく、全力で関係課、業者一体となって作業を進めておりますので、被災された皆さまのご理解を賜りたいと思います。

当町は、市街地の都市計画整備と農村部の農地基盤整備が進んでいるにもかかわらず、台風と梅雨前線が合体した集中豪雨が過去の経験からは想定を上回るものとなり、今回の大災害を招きました。復旧整備は、すでに終了した所もありますが、国、県に改良または、築堤など強く要望していく必要があります。早急に対応してまいります。

安全で暮らしやすい町を目指して種々のまちづくりを進めてまいりましたが、災害対策につきましても行政の力だけでは成し得ないものがありました。この災害で得た教訓を町の防災計画、災害対策に生かしていくとともに、皆さんの意見と協力をいただき、地域の安全について住民と行政が一体となった「まちづくり」に向けて邁進してまいります。

(藤原 孝)

※八月七日、臨時議会が開催され台風六号被害の応急対策補正予算二億千三百万円余りを可決しました。

猛威ふるった

7.11

《特集》
AM9:15
避難勧告発令

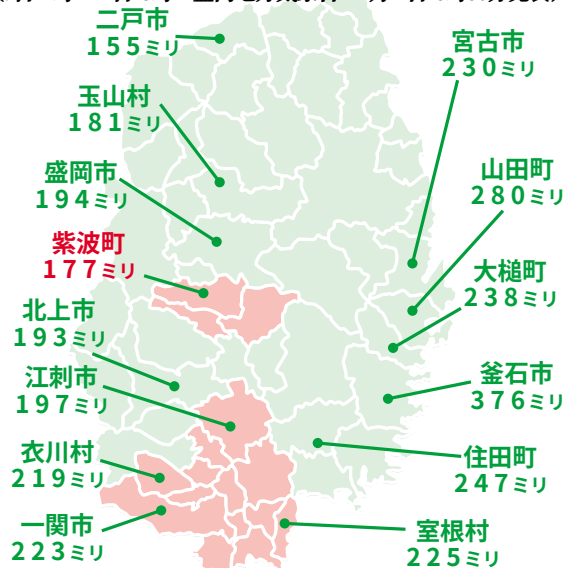
台風6号

台風6号は、七月十一日に房総半島に上陸した後、東北地方の太平洋沿岸を北上して十一日午後一時ごろには三陸沖に達しました。

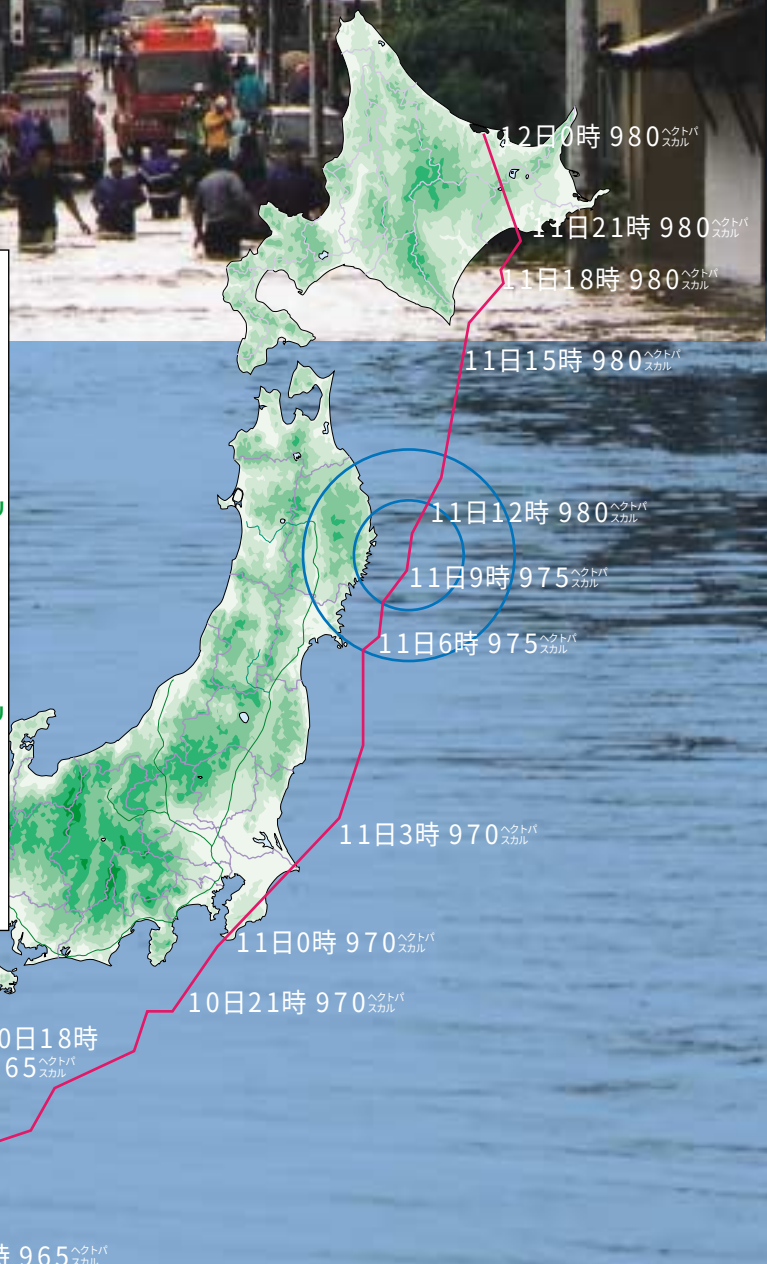
この台風の北上により、停滞していた梅雨前線が活発化して、九日午後九時から雨が降り出し、十日昼過ぎから十一日の朝にかけて大雨。

その被害は甚大で、県は七月末現在の被害額が五百六十五億円に上ると発表しました。農林業や土木施設を中心に被害が広がっており、金額はさらに増えるともわれています。町内に多大な被害をもたらすことになった今回の台風6号について振り返ります。

県内の主な市町村のアメダス雨量
(9日21時～11日15時 盛岡地方気象台 7月11日15時50分発表)



■は過去数年間で土砂災害の危険性が最も高い地域





星山周辺 星山小学校（下写真）は床下浸水だけでなく、プールポンプも水没。近くの交差点（上写真）も冠水し、水しぶきを上げながら車が往来していました。



長岡周辺 大きな被害の報告はありませんでしたが、長岡河川グラウンドは水没、北上川と天王川の合流地点にある揚水機場にも濁流がせまっていました。



赤沢周辺　すでに赤沢川上流で道路付近まで増水。下流に行くにつれ、より水量を増して各地を浸水させることになりました。



17時25分 大雨・洪水警報発表

盛岡地方気象台は十日十七時二十五分、県内に大雨洪水警報を出し、県は災害警戒本部を設置、町でも消防署、消防団とともに町内の主な河川を中心に夜間巡視にあたっていました。

午前三時すぎ、古館の才智川で橋の床板に水が触れているのが確認されたのを皮切りに、水田、道路の冠水、明け方には家屋浸水の情報も各地から寄せられました。中新田立体ほか町内五カ所の鉄道と道路の立体交差は次々と浸水し通行止めの措置が執られ、佐比内地区では配水管の流失により百八十世帯が断水しました。町が設置した災害対策本部には水路氾らんや道路決壊の知らせ、土のうの要請などひっきりなしの通報がはいり、対応が追いつかない状態となりました。

一時避難始まる

大雨は住民の生活と人命にも大きな恐怖を与えました。北上川の水位が警戒水位を超え、町内の河川からの放流が困難となり、行き場を失った水は土手を越え、家屋へと侵入していきましました。桜町上川原・下川原、二日町田中前、南日詰甘木地区など百十五世帯に避難勧告が発令され、お年寄りや女性らがゴムボートで救出される場所も出てきました。近くの公民館が避難所として開放され百四十三人が一時避難し、六十七人が避難所で眠れぬ一夜を明かしたのです。幸いなことに今回の災害で重傷者は報告されていませんが、精神的苦痛や災害復旧のための苦労は計り知れないものがあります。



桜町周辺 写真上から盛岡南ショッピングセンター・ナックス、総合運動公園の様子。写真左下と真下の写真桜町下川原旧紫波橋通りは、過去にも何度か浸水の被害にあっていますが、堤防完成以後でこれほどまでの被害はありませんでした。

二日町周辺 二日町の新興住宅地にも濁流が。写真のとおり、公園から住宅まですべてが水に浸かる被害を受けました。



南日詰周辺 家屋の被害のほか、道路、水路、農業施設にも大きな被害がありました。下写真は下東ノ坊、右写真は甘木の様子です。



台風6号被災者緊急座談会で寄せられたご意見

町では7月15日に「台風6号被災者緊急座談会」を開きました。赤石、日詰、古館の3会場で238人の町民が集まり、災害・防災に対する声が寄せられました。その中の一部を掲載します。

- ◆目に見える被害だけでなく、細かい部分についても町で掌握してほしい。(赤石)
- ◆甘木パイロット事業の用水路が土砂で埋まっているので早急に復旧してほしい。(赤石)
- ◆排水路の確保やゴミの除去をこまめに監視する必要がある。(赤石)
- ◆浸水箇所の消毒が必要だが、自分たちでできる部分は協力してやっていきたいので、その指導もしてほしい。(赤石)
- ◆ダム放水状況を含めてもっと情報が早いと、避難や事前の対策ができる。広報車の放送も確実に各戸に届くように。(日詰)
- ◆現地に災害対策本部の職員を配置し、本部

との連絡がすぐにとれるような体制が必要。(日詰)

- ◆この災害を教訓に町内会で援助、協力できる体制を見直していきたい。(日詰)
- ◆復旧については多くの人の協力で行われたが、町の初動体制が悪かった。総合的な災害対策の見直しが必要(日詰)
- ◆農業用と生活用の水路が入り組んでいる。水系を把握し管理体制を確立していく必要がある。(古館)
- ◆町全体の防災計画を住民と協議しながら見直す必要がある。(古館)
- ◆この辺は子どもが多いので水路の安全整備をしてほしい。(古館)

山道では雨で緩んだ地盤が土砂崩れとなり、南日詰の甘木地内では激流が県道法面の土砂を全て流し去ってしまい、水が退いた跡は崩落箇所が洞穴のようにえぐられていました。スタンドで囲まれた野球場や陸上競技場は、あふれるほどの水がたまり、町の中心のショッピングセンターや商店街の商品も水をかぶる被害が相次ぎました。

台風6号被害状況(7月31日 午後5時現在 取りまとめ分)

●死者・行方不明者・負傷者										0人	
●避難勧告	桜町上川原・下川原			28戸	72人	11日	避難勧告	11:20			
	二日町田中前			32戸	117人			9:15 (7戸)			
	二日町下河原			8戸	29人			12:40 (25戸)			
	南日詰小路口・甘木			47戸	215人			13:30			
								12:05			
	計			115戸	433人	11日 12日	解除	21:45 南日詰のみ			
						4:30 他3地域					
●建物(損壊)はなし、長岡地区も被害報告なし		日詰	古館	水分	志和	赤石	彦部	佐比内	赤沢	合計	
	床上浸水	25	21	1	0	3	1	1	1	53	
	床下浸水	25	20	2	8	25	8	7	1	96	
	非住家浸水	6	1	0	2	3	3	1	2	18	
	合 計	56	42	3	10	31	12	9	4	167	
●商業被害		17件			被害額		43,933千円				
●道路損壊		87カ所			被害額		217,200千円				
●河川損壊		60カ所			被害額		224,300千円				
●農作物被害		550ha			被害額		15,000千円				
●畜産関係		子ブタ15頭死亡			被害額		300千円				
●農地、農業用施設被害		348カ所			被害額		438,000千円				
●林道被害		28路線			被害額		35,439千円				
●学校被害	星山小学校		校舎床下浸水、プールポンプ水没					被害額	110千円		
●社会教育・体育施設被害	床上浸水		総合体育館、自転車管理棟					被害額	2,500千円		
	床下浸水		佐比内公民館								
	冠水		野球場、陸上競技場、テニスコート								
●水道施設被害	佐比内地区		180世帯断水(配水管3カ所の流失による)					被害額	17,570千円		
	船久保簡水		取水口損傷、管理用道路損壊								
	船久保地区		水管橋橋台損壊								
	大志田簡水		水管橋損壊								
	中平飲料水供給施設		導水管土砂流入								
●下水道施設被害	下川原雨水ポンプ場浸水							被害額	204,500千円		
	彦部大巻地区農業集落排水処理施設浸水										
	長岡南地区農業集落排水処理施設浸水										
●総計								被害額	1,225,352千円		



12日には消毒・後片付けなど復旧作業開始

ありがとう 善意の心

大雨による被害が町内各地で発生する中、炊き出しをはじめとした自主的なボランティア活動が各地で行われました。

また災害復旧のためのご寄付もいただいています。

◆紫波町金融団(佐々木政文幹事)から三万円

◆新日本婦人の会紫波支部(及川ひとみ代表)から二万円



ボランティアも参加し復旧

台風6号が太平洋に抜け、十二日早朝からは復旧作業が開始されました。ちづり水をすい持ち上げられなくなった畳、水で浮き上がって倒れたタンスやキャビネットなど無惨な状態でしたが、多くの手伝いや励ましを受け、汚れた床を水で洗い流すなどの作業が進められました。同時に町からは保健師と防疫隊が派遣され、被災した皆さんの心身のケアと家屋や庭回りの消毒作業にあたりました。また町内会や住宅関係の事業所が素早い対応で復旧作業に協力し、総合体育館をはじめ、町の施設にはシルバー人材センターから三十七人の応援の手がさしのべられました。使用不能となった家財道具や流木の収集処理には個人のトラックも借り出されましたが一週間以上もかかる状態でした。

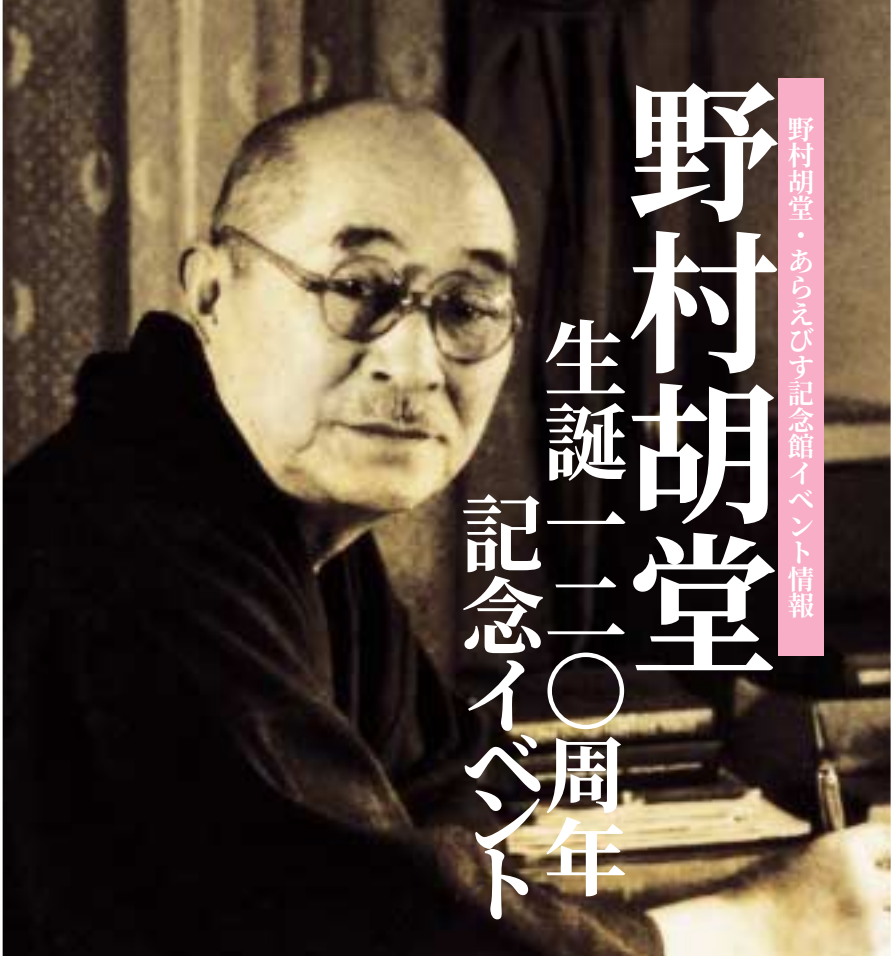
課題と爪跡を残し:

今回は降り始めからの町の総雨量が七七ミリ、北上川の水位は最大四・七三メートルで、昭和三十三年に続く戦後三番目のものでした。下川原ポンプ場は許容能力の二倍に当たる四八〇トンの水が流入し、制御装置が働き非常停止しました。都市の近代化などにより、地盤の保水能力は低下し、地球環境の変化で今後、またどれだけの雨が降るのかも予想しがたい状態です。

その結果今回の台風は、県内各地で予想以上の被害をもたらし、釜石では鉄砲水で二人が亡くなる悲しい事故も発生しました。今後、人間がいかに自然の猛威と戦っていくのか、台風6号はさまざまな課題と爪跡を残していきました。

野村胡堂

生誕二二〇周年
記念イベント



8月31日まで

「浮世絵版画コレクション展」

溪斎英泉・歌川広重 木曾街道六拾九次から

木曾街道六拾九次は、艶やかな美人画を得意とする英泉と叙情的風景を描く広重という作風の異なる二大作家による連作です。江戸庶民を魅了し旅心をくすぐった浮世絵版画の数々をお楽しみください。

実際に旅をするとき使われた矢立やカッパなどの荷物や地図なども展示。



木曾街道六拾九次内 守山

平成14年 9月7日～平成15年 1月31日

野村胡堂・あらえびす生誕120年

「野村胡堂～大衆文学に足跡を残す～」

人々に愛読され、時の首相吉田茂をも熱中させたベストセラー『銭形平次捕物控』をはじめ『池田大助捕物帖』など捕物小説を世に送り出した野村胡堂。「明るく楽しく、後味の良い捕物小説を提供する」ことを心がけた作家胡堂が残した足跡を紹介。

9月7日 午後2時～

オープニング記念イベント

第1部 対談「野村胡堂を語る」

作家 三好 徹 / 文芸春秋社前社長 安藤 満

生前、取材を通して対面した三好氏と、編集者として銭形平次の仕事を通して対面したことのある安藤氏が野村胡堂の印象を語る。

第2部 ピアノコンサート

ピアノ: 戸口 純

クラリネット: 村井 祐児

音楽解説: 戸口 幸策

〈曲目〉 モーツァルト ソナタ・イ長調「トルコ行進曲」

ショパン 練習曲集から

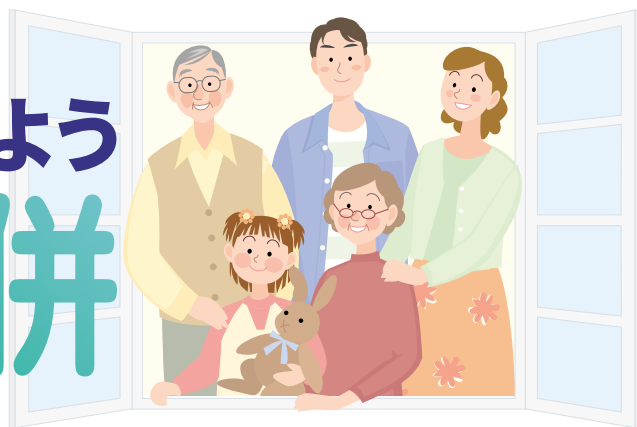
●問合せ 野村胡堂・あらえびす記念館 (彦部字暮坪 193- 1) ☎676-6896

入館料 ●大人 300 円、小・中・高生 150 円、以下無料 / 団体 (20 人以上) 大人 250 円、小・中・高生 100 円

開館時間 ●午前 9 時～午後 4 時 30 分 (入館は 4 時まで)

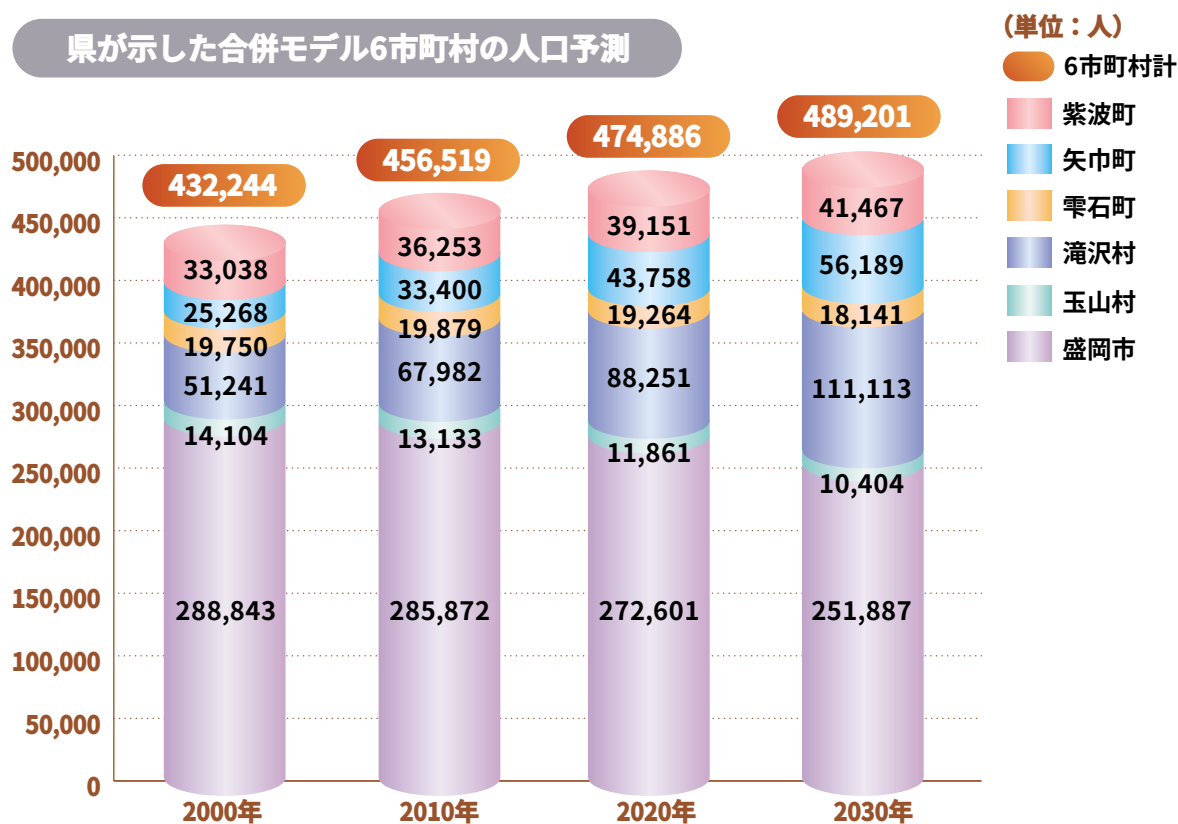
休館日 ●月曜日 (祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

みんなで考えよう 市町村合併



少子・高齢社会の自治体の役割とは？

県が示した合併モデル6市町村の人口予測



気になる人口の推移

合併を考えるとときに、真っ先にあげられるのが人口です。盛岡市は、合併により、中核市の要件である人口三十万人を目指していることは、皆さんもご存じのとおりです。

では、将来の人口はどのように推移していくのでしょうか。県が示す合併モデル6市町村の将来人口を日本統計協会編「市町村の将来人口」（平成十四年三月）を使って比較してみました。

紙面の都合上、西暦二〇一〇年から二〇三〇年まで十年ごとの推計値で見てください。

人口は、矢巾町、滝沢村では、二〇〇〇年比較で二〇三〇年には倍増すると予測されています。紫波町は二五%増で、雫石町と盛岡市は二〇%前後減少、玉山村は二六%減少する予測となっています。人口は、三団体が増加傾向、三団体が減少傾向で、六市町村ではわずかに増加する見通しとなっています。

人口減少は、住民税や地方交付税が減少することにつながるため、合併こそが財政危機回避の切り札と考える自治体もあるようですが、このようなときにこそ、個々の自治体の抜本的な行財政改革が必要と思われます。

民間企業においても、業績の良くないところ同士の合併で、成功した例は見かけません。

進む少子化・高齢社会

年少人口（十四歳以下）と老年人口（六十五歳以上）の人口に対する割合を見ていきましょう。

はじめに、年少人口ですが、二〇〇〇年において、人口に対する割合が最

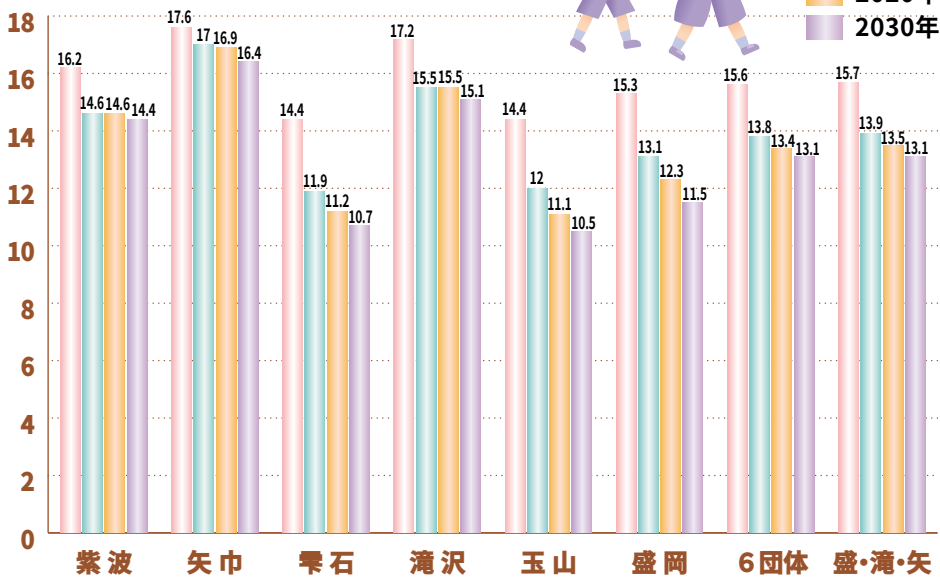
も少ないのは、雫石町と玉山村で、次に盛岡市、紫波町、滝沢村、矢巾町の順となっています。二〇三〇年はどうでしょうか。玉山村が最も少なく、次に雫石町、盛岡市、紫波町、滝沢村、

矢巾町の順になっています。いずれも年少人口の割合が減少を続け、少子化がますます進む予測となっています。老年人口に注目しますと、二〇〇〇年では、滝沢村以外は、すべて高齢社会（老年人口二四%以上）となっていますが、二〇二〇年には、その滝沢村

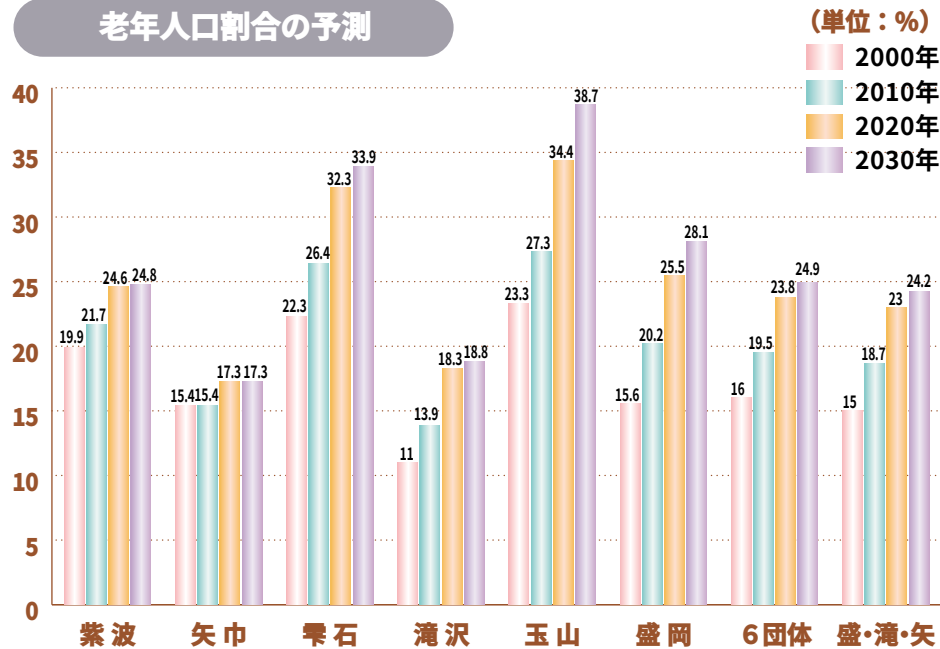
も高齢社会となる見込みです。二〇三〇年には、玉山村が二・五人に二人、盛岡市は三・五人に二人が六十五歳以上であり、紫波町は四人に二人が六十五歳以上という予測となっています。少子と高齢の二点に着目して見ましたが、どのまちでも年少人口は減少し、老年人口は増加の二途であり、少子高齢化がますます顕著になるという予測となっています。

このことから、少子高齢化に対応した、社会のあり様がどうあればよいのかという、広域的な将来ビジョンが求められていることは間違いありません。しかし、行政手法だけで、できることには限界があります。今後は、求める成果を住民・NPO・企業などと分担することも必要と考えられます。

年少人口割合の予測



老年人口割合の予測



用語解説

●高齢社会（国連の基準による）

人口に占める65歳以上の人口（老年人口）が14%を超えた社会。高齢化社会といふときは、人口に占める65歳以上の人口が、7%を超えた場合と定義されている。

※日本が7%を超えたのは、1970年（昭和45年）、14%を超えたのは、1994年（平成6年）

保育施設（厚生省が認可した公営および民営の保育所・保育園）

平成14年4月1日現在

項 目	紫波町	矢巾町	雫石町	滝沢村	玉山村	盛岡市
施 設 数	公5	公4 民2	公5 民1	民11	民5	公18 民23
定 員 数	375人	650人	335人	812人	315人	3720人
入 所 待 機 者 数	0人	0人	0人	12人	0人	10人
延長保育実施施設	2	6	6	11	5	41
0歳児保育実施施設	2	6	5	11	5	30
子育て支援センター	1	1	—	2	1	3
3歳児の保育料月額 (所得税8万円世帯)	30,000円	28,000円	26,000円	30,000円	27,000円	30,600円



少子高齢化の観点から、児童福祉では「保育施設」、高齢者福祉では「介護保険施設」の現状を比較してみました。

紫波町と他の自治体を比べると、運営形態に差があることが分かります。紫波町はすべて公営ですが、矢巾町、雫石町、盛岡市は公と民が混在しており、滝沢村、玉山村はすべて民営です。

次に定員数と入所待機者数ですが、定員数の多い盛岡市、滝沢村で入所待機者があり、保育施設の需要が多いと考えられます。一方、紫波町は定員数が少なめですが、入所待機者数はゼロとなっており、一応、需要は満たされている結果となっています。紫波町では、水分彦部、赤沢、長岡地区に幼児型の児童館（総定員二百四十人）を設置していること、私立幼稚園（総定員四百三十人）が延長保育の対応をしていることも、待機者数ゼロの理由と考えられます。

また、延長保育と〇歳児保育では、紫波町は中央部の二施設のみとなつて

いますが、他の町村では、全施設が対応しています。需要に応じた柔軟な対応が必要と思われます。

保育料月額では、最高の盛岡市と最低の雫石町の差は四千六百円となっています。盛岡市・紫波町・滝沢村は高い方に位置づけられる結果となっています。

介護保険は、紫波町・矢巾町・盛岡市は単独で、雫石町・滝沢村は認定審査会を共同で、玉山村は盛岡北部広域事務組合（六町村）に加入して介護保険事業を行っています。

いずれも制度に基づく標準パターンでサービスが提供されています。

紫波町は六団体の中では高い方ですが、現在、どこでも第二期介護保険事業計画の策定にとりかかっており、その中で「介護保険料」の見直しが行われています。

以上、保育施設と介護保険施設を見ましたが、いずれも制度に基づくサービスであり、自治体によって、サービスに大きな違いはないようです。

制度に基づく行政サービス分野では、とりわけ財政面が合併議論のポイントとなります。



介護保険施設（特別養護老人ホーム・通所介護施設）

平成14年4月1日現在

項 目	紫波町	矢巾町	雫石町	滝沢村	玉山村	盛岡市
特別養護老人ホーム (ベット数)	2 (102)	1 (52)	1 (80)	1 (80)	1 (50)	7 (460)
通所介護施設数	5	3	3	4	2	25
65歳以上の 介護保険料月額	3,120円	3,200円	2,558円	2,883円	3,085円	3,031円



新農業委員 の紹介

公選による委員20人と、選任による委員6人の新しい農業委員26人が決まりました。7月23日に第1回農業委員会総会が行われ、委員の互選により平舘良孝氏が会長に再任されました。

農地の適正な移動や、農業の担い手育成など地域農業の発展のために世話役として農業委員活動にあたります。

農業委員会の新体制

会長	平舘 良孝	会長職務代理	熊谷 弘
農政小委員長	高橋 信	農政小委員長代理	須川 静雄
農地調整小委員長	高橋 定一	農地調整小委員長代理	横沢 眞

就任のごあいさつ

地域農業の発展に尽力

会長 平舘良孝

このたび、農業委員改選後に開かれた第二回総会におきまして、前々回、前回に引き続き会長という重責を担うことになりました。

責任の重さに身の引き締まる思いでありますが、これまでの経験を生かし、皆様の期待に応えられるよう全力を尽くす所存であります。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、農産物価格の低迷、輸入野菜等の急増、BSEの発生など極めて厳しい状況にあります。

こうした中で、食の安全・安心を確保し、その基盤となる優良農地の確保とその有効利用及び担い手の確保・育成など、新たな課題の克服に努めなければなりません。

また、農業者の代表として、農家が安心して農業に取り組める政策を建議・要望してまいりたいと考えております。

紫波町農業の発展に、二十六人の農業委員が一丸となって尽力することをお誓い申し上げます。

26人の農業委員紹介

氏名(住所) 当選回数 所属小委員会



熊谷 弘(片寄字久保田)
三回 会長職務代理
農業者に選ばれた農業委員であることを重く受け、地域農業の活性化等時代の要請に応え、政策提言し実践活動を通し率先行動する委員として努力したい。



平舘良孝(山屋字鍋沢)
四回 会長
担い手不足、高齢化等、地域農業の再生が町の発展に不可欠です。国是である食糧自給率の向上を目指し、初心を忘れず微力ながら尽力して参ります。



鎌田征郎(北日詰字白旗)
一回 農政小委員会
地域農業振興並びに意欲ある担い手の確保・育成と農業経営確立に向けて、農業者・地域の声を基に優良農地などの有効利用推進に努めます。



阿部初雄(犬吠森字後田)
一回 農地調整小委員会
今日の農業情勢は、多難な局面にあり、事の重大さを痛感致しております。農業者や地域の声を受けとめ、農業振興に寄与する努力を致します。



浅沼克男(小屋敷字新在家)
一回 農政小委員会
地域農業の発展の為、農用地の有効活用等を考え、農業経営の確立を目指し取り組みたいと思います。



大弓 隆(赤沢字元沢)
一回 農地調整小委員会
農業者の期待と信頼に応えられるよう、厳しい農業情勢ではありますが、努力して参りたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。



堀切安治(佐比内字正分沢)
三回 農政小委員会
いつも農作業と時間に追われ、日に照らされながらも野菜作りを精を出している農業者です。心新たに、三期目も頑張りたいと思います。



渡辺勇次郎(土館字内川)
一回 農地調整小委員会
農業者の代表として、地域の担い手対策、経営の確立に向けた支援等農業者のための相談活動や世話活動を積極的に行って参りたいと思います。



鈴木芳雄(日詰字西恵)
一回 農地調整小委員会
長引く日本経済の低迷により、厳しい農業環境ではありますが、紫波町の基幹産業である農業の維持・振興に努めたい。



藤本真吉(平沢字越場)
一回 農地調整小委員会
農業委員二期目を迎え、農業者の代表として責任ある行動のもとに優良農地の保全に努め、紫波町農業者のために活動して参ります。



浦田輝夫(土館字松森)
一回 農政小委員会
農地制度の見直しで、大胆な方針が出された今、地域農業の再生を考えながら経営面や生産面など現場の課題を積極的に提言したいと思えます。



杉浦 力(片寄字百目木)
三回 農政小委員会

農地法を鑑み、遊休農地の解消と農地の有効利用に取り組み、農政・農業の振興発展に信念を持って、不撓不屈のスピリットで努力します。



西田 守(升沢字田屋)
三回 農地調整小委員会

今期で二期目の農業委員を務めさせて頂きます。これまでの経験に基づき、又新たな姿勢で頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



佐々木時夫(天咲森字間木沢)
三回 農地調整小委員会

星山地区基盤整備計画廃案以降、地域に活力が無くなった様に思える。農業後継者も少なくなった。今以前のような思いやりのある人間関係を取り戻すため頑張りたい。



八重嶋 隆(大巻字船場)
三回 農地調整小委員会

私は、担い手の育成と農家生活の向上に努めます。



佐々木 武(佐比内字内黒森)
三回 農地調整小委員会

全ての農産物が自由経済の中に入ります。コスト高の中山間農村に住んで、どんな農業経営をし、村づくりが出来るかいつも悩んでおります。



須川静雄(南伝法寺字両沼)
三回 農政小委員会・小委員長代理

環境と食の基である農村を守り、次世代に引き継ぐ為、今私達は何をすべきか、皆様方のお知恵を拝借しながら真摯に取り組みたいと思っております。



高橋定一(中島字上竹林)
三回 農地調整小委員会・小委員長

水と空気と緑を大切に、美しい地球環境の保護を、人類に安全で、新鮮な食糧を提供し、食卓を満たす農業を、「コメあり 菜もあり」といふべく、



横沢 眞(栃内字沢田)
三回 農地調整小委員会・小委員長代理

農家の声を行政に反映したい。三十数年続いた米の減反政策をはじめ、食料品の国際化等々、問題点を掘り起こし提言して参りたい。



高橋 信(南日詰字梅田)
四回 農政小委員会・小委員長

安全な食糧の生産と、快適な農村の環境整備のために、農業者の利益代表者としての自覚を持って活動して参ります。



高橋利明(南日詰字甘木)
三回 農政小委員会

安全な食糧生産のための優良農地を守り、地域農業振興の為、農協推薦委員として心新たな気持ちで頑張る所存でございます。



北田 等(江柄字大志田)
三回 農政小委員会

改選にあたり岩手県青果販売農協より推薦頂きました。農業委員会の委員として地域農業の発展のため協力致したいと思っております。



幅野善次郎(平沢字蒲名川)
二回 農政小委員会

農業委員になって二年、認定農業者の方々の農業に取り組む意欲的な姿勢に接し、強く心を打たれます。それに応えるべく努力をして参ります。



阿部周蔵(星山字間野村)
三回 農政小委員会

二十世紀初代の農業委員として恥じないよう委員の皆様と一致協力して農業委員としての使命を果たし、農業振興と活性化に努力する所存です。



高橋公一(片寄字堀米)
五回 農地調整小委員会

紫波町の農業：作る人と食べる人が共に励み榮えて味のある農産物が生まれ、全国に発信する農業ができることを希み、農業委員として応援したい。



熊谷富子(片寄字久保田)
三回 農政小委員会

「食と農の再生プラン」が国より打ち出されました。女性・生産者の立場から「安心・安全・信頼」の絆を築いていくことに傾注して参ります。

装いも新たに開催 第31回紫波夏まつり

第三十一回紫波夏まつりが八月四日（日）運動公園陸上競技場を主会場に行われました。

商工会や農協などのさまざまな団体からなる夏まつり実行委員会が、「町民総参加のまつり」を実現するため、今までの経験をもとに、まつりを開催しました。みなさんはどのように楽しめましたでしょうか。

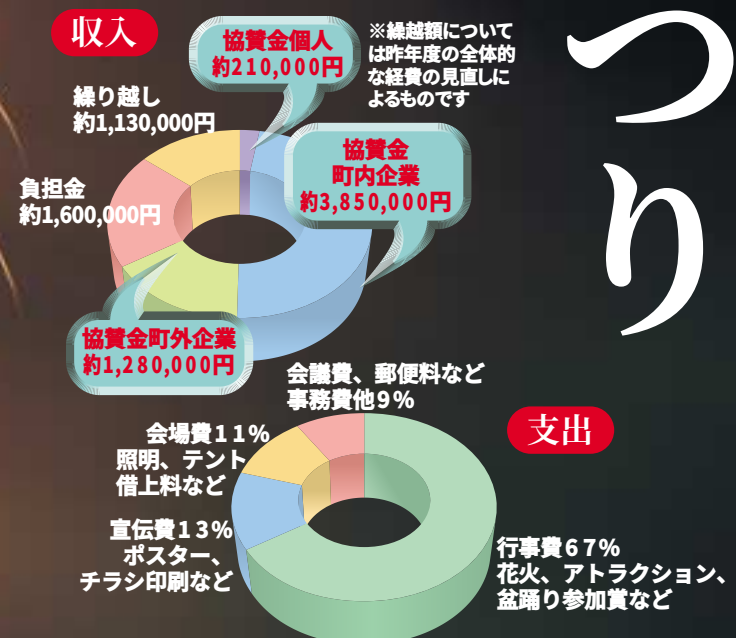


アトラクションでは一輪車演技や伝承芸能、吹奏楽とも子どもたちが大活躍しました。岩手大学の学生とジョイント演奏した紫波一中生も堂々としており、夏の空に壮大な音楽が響き渡りました。

これまでの夏まつりは、その経費のほとんどが事業所からの協賛金でまかなわれていました。しかし、今年は「まつりをみんなで」の考えから、町民の皆さんにも協力をお願いしたところ予想を上回る申し出がありました。これに主催者側の負担金を加えた予算が花火や盆踊り参加費、各種機材のレンタル料などに使われます。

※おわび、皆さんにお配りした協賛者御芳名一覧の中で、養老乃瀧紫波町店からいただいた十一口（一万千円）がもれていました。おわびいたします。

夏まつり予算 総額 約800万円（8月2日現在）





考えよう 楽しい まつりのために

準備・撤去・ごみ…

1万8000人ほどの皆さんが楽しんだ今年の夏まつり。しかし、問題もあります。

その一つが準備・撤去などの簡素化です。事業部やサービス部ほか五つの部会制度をとっている夏まつり実行委員会は、企画から後片づけまで延べ二百人以上が作業にかかわっています。今回は前日、当日の突然の雨というアクシデントに見舞われながらの準備作業でした。こうした準備により多くの人が参加してもらうことで、短時間で効率的な運営が可能になります。

もう一つは会場内に残されたごみです。袋の中に空き缶と紙コップが混ざって入れられていたり、ポイ捨て禁止のはずなのに、たばこの吸いがらなどが至るところにあるといった状況で、この分別・収集はたいへん時間がかかりました。

こうしたモラル・環境問題を解決し、より多くの皆さんで盛り上げられる夏まつりの実現にご協力をお願いします。



今年の盆踊りは、その踊り方や衣装のアレンジ、ユニークさを競う銭形音頭発表会と、参加することにその意義がある盆踊り大会の二部門に分け、審査の待ち時間もなく踊る人も観る人も楽しく過ごしました。それぞれが工夫を凝らした衣装をまとった二十二グループ七百人ほどの踊り手が練習の成果を披露してくれました。発表会の銭形賞は「長岡の童&若げ人達（わらすどわけひとだづ）」の皆さん。腰の鈴と手に持ったカスターネットのリズムの良さが評価されたようです。最年少出場は二歳で、見よう見まねの振り付けもかわいらしい銭形音頭でした。

出場者の盆踊りの練習会は七月中に四回行い、連日七十人を超す人が汗を流して練習しました。

まつりのファイナーレを飾るのは夜空を彩る花火、誕生祝いなど四件の記念花火を含め、約千五百発が打ち上げられました。秋田からやってきた花火師さんは昼過ぎ雨が上がるのをまって大筒に尺玉を、連発花火は握り拳ほどの火薬玉を順序よく慎重にこめていました。



NPO法人紫波みらい研究所が主催した「夏の地産地消」。東京西麻布の日本料理店「分とく山」総料理長の野崎洋光氏を講師にお迎えし、今年二回目となる講演会が七月二十七日に五十二名の参加のもと盛大に開催されました。



温泉卵順才かけ



牛茄子挟み



沢庵青唐飯蒸し



野崎洋光 紫波の旬を 美味しくつくる 夏の 地産地消

※地産地消とは？

地元で採れた産物を地元で消費すること。新鮮・安全な食材を使い、おいしいものを食べましようという運動です。

今回のテーマは「夏に地元で手に入るものを使った家庭料理」。風味を増し、食欲を刺激するための薬味に着目し、その薬味を生かした料理を中心に七品が紹介され、参加者からは「とても良かった」「自宅で再現できそう」「友人にも紹介したい」という声が聞かれました。今回使われた材料もほとんどが産直など地元で手に入ります。

この取り組みは、次回、二月開催予定の「冬の地産地消」で最後になります。食材に対するご意見、ご要望のある方、料理の詳細について知りたい方は、紫波みらい研究所までご連絡ください。

■連絡先 ※ NPO法人 紫波みらい研究所（事務所 旧水道事業所） ☎ 676-6103

夏の地産地消

一、薬味

今回の料理はもちろん、そうめんや冷や奴など何でも使える青ネギ、ミョウガ、大葉などで作った薬味

二、温泉卵 順才かけ

温泉卵の上手な作り方と薬味、だしの紹介

三、沢庵青唐飯蒸し

もち米とたくあん、シシトウ、削り節を合わせた、おにぎり風おしのぎ

四、冷やしぬっぺい汁

豆板醤をポイントにした冷たい長イモの汁

五、牛茄子挟み

ピリリッとしたたれでいただく焼いた牛肉と茄子の造り代わり

六、カボチャ、ズッキーニの揚げだし

産直で見かけるようになったズッキーニとカボチャを揚げただし汁、薬味をかけていただく

七、煮茄子そば

稲藤一のそばを使ったナスと鶏肉が具の冷たいそば

八、シソシャーベット

白ワインとシソの風味が新鮮なシャーベット

※NPO法人とは？

NPOとは、一般に「民間非営利組織」と呼ばれ、政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体をいいます。法人格を取得したものをNPO法人といえます。



五ツ森を探検してカブトムシの巣へ！ 第4回紫波町環境探検隊

紫波みらい研究所主催の第4回紫波町環境探検隊が七月六日、犬吠森・星山地内の五ツ森山周辺で行なわれました。あいにくの雨となりましたが、町内の小学生親子ら二十一人のほか、五十六人の参加者は、山屋で農林業を営む半

田孝壽さんの山や木のお話と名前当てクイズを楽しみながら、一時間半、里山の中を探検しました。

昼食後は北田の農業阿部裕悦さん宅を訪ね、カブトムシの生態についてお話を聞き、カブトムシの巣を観察しました。子どもたちは探検の疲れも忘れ、カブトムシ探しに夢中でした。





第三回 町民劇場

熱演「東根太郎物語」

第三回紫波町民劇場「東根太郎物語」陣ヶ岡と経塚由来より」が七月二十、二十一日の両日、中央公民館で上演され、約八百人の観客に感動をあたえました。

舞台は鎌倉時代の紫波町、東根太郎は山人の束ね頭として、静かに暮らしていましたが、平泉を攻略した鎌倉軍が、子どもに弓を引いたことで太郎の怒りは頂点に達した。そこには真の勇者としての東根太郎が画かれていました。

キャスト二十八人、スタッフ三十八人が夜遅くまで練習したり、家に持ち帰って衣装や道具作りしたりと頑張ってきました。それをささえたのは家族や周囲の人たちです。カーテンコールでいつまでも続いた大きな拍手はその努力の証でした。



「東根太郎物語」を終えて

紫波町民劇場実行委員会 委員長 鷹背忠一さん

昨年早々に今回の公演日を決定し準備に取り組みましたが、「脚本の制作」の大事さ、大変さが改めて思い直されました。脚本制作に当たってくださった生内邦雄さん（水戸）の努力に感謝いたします。さらに「時代劇は衣装が決め手」という思いにより刀や着物の提供にも協力いただきました。また、前回に引き続き演出を引き受けてくださった浅沼久さん（盛岡市）には、今後の組織体制に幅を持たせるため、新人の演出家と舞台監督の指導もしていただきました。今回のキャストとスタッフのうち三分の一は初めて参加するメンバーです。回を重ねるごとに多くの人に携わっていただくことはとてもうれしく、今後も皆さまのご協力とご声援により充実した活動を続けていけることと思います。



寒稽古の成果！ 上位進出者が続出

7/14

第五十四回県民体育大会空手道競技において、町空手道協会が男女総合一位、個人形で高橋吉貴さん、木村美茂さんが一位、また同日宮古市で行われた県スポーツ少年団空手道大会では小学校低学年の部で佐藤慶君が一位、中学女子の部で榮田有紗さんが一位を獲得したほか入賞者続出の快挙をなしとげました。指導にあたる高橋吉見さんは「賞状の多さに驚いています。結果がすべてではないが日ごろ、けいこに真摯に取り組んだ成果ができました。ただ、勝ちに偶



多くの種類にビックリ 長岡小五年生がお米教室に参加

7/4

子どもたちに食料や農業の大切さを知ってもらおうと仙台食料事務所盛岡事務所が長岡小学校の五年生を対象に「お米教室」を行いました。魚沼産コシヒカリとタイ米、カリフォルニア米の水分を量ったり、食べ比べたりしました。またお米が収穫されるまでの過程や苦労を知ったので、みんなごはんを残さず食べるようになることでしょう。



おじいちゃん おばあちゃんが 長生きできるよう星に願いを

7/4

水分児童館の子どもたち35人と百寿の里に入所しているお年寄りの七夕交流会が開かれました。水分音頭や大ちゃん数え歌、雨降りお月さんなどの歌と踊りを衣装を替えてお披露目。お年寄りたちは一緒に口ずさんだりしながら、その愛らしさにみな笑顔で拍手を贈っていました。子どもたちは手作りの首かざりを、お年寄り一人ひとりに掛けて肩たたきをし、ごほうびにお菓子をもらってにつこり。また来ることを約束していました。





精神障害者の心の支えとして貢献

7/18

製作に意欲的に取り組むなど活躍しています。

「みんなのでひらこう！ 偏見のとびらを」をスローガンに第二十五回岩手県精神障害者家族大会が水沢市で開かれ、さくら製作所指導員の菊池ウメさんが表彰されました。菊池さんは看護婦時代から精神保健事業に四十二年以上にわたり従事してきました。その仕事ぶりから、在宅精神障害者に親しまれ行政とのパイプ役として尽力し、仕事以外でもボランティアとして作業所のバザー作品



心鎮める一服に感謝して ふれあいお茶会

7/1

社会を明るくする運動の一環として茶道を通じた世代間交流が行われました。紫波高校の茶道部十二人が薄茶と生菓子を百五十人に振る舞いました。みんなの前で江戸千家のお点前を披露したのは藤原友子さんと巻藤まゆかさん。紫波警察署長がお正客となり、日詰小学校の六年生と老人クラブや地域の人が、緊張しながらもお抹茶のいただき方などの話してふれあいの時間を過ごしました。初めて参加した子どもたちには、少し足のしびれが辛かったようでした。



ボランティア探検隊で 思いやりの心を育てる

7/31

社会福祉協議会では町内の小学校の4、5年生に呼びかけ、ジュニアボランティア探検隊を募集。冬までに全六講座を開催することになっています。第一回目の参加



者は一七人で、植物観察とキャップハンディ体験をしました。キャップハンディいわて代表の中村福子さんから目や足の不自由な人の介助の方法を教わり、実際車イスを使つて砂利道や階段を歩きその大変さを実感していました。これからは困っている人がいたらきつと声をかけてあげられるでしょう。



将棋の腕前はなかなか 福山啓三さん百歳の誕生日会

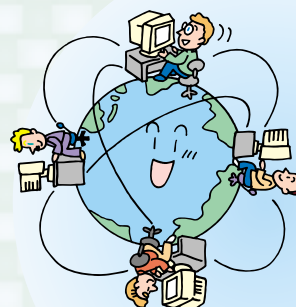
7/24

町で五番目の長寿者福山啓三さんの百歳の誕生会が、特別養護老人ホーム、百寿の里で賑やかに行われました。出身地赤沢の児童館の子どもたち二十五人がお祝いに駆けつけ、舟久保さんさ踊りやお誕生日の歌、手作りの壁掛けなどをプレゼント。子どもたちに終始笑顔で手を振る福山さんは「百二歳になりました。ありがとう」と数えの年齢であいさつする、とても愛きょうのある人です。将棋と甘いお菓子が大好きで、耳は遠いものの、自分で車イスを操り散歩することもあります。



商店街から
世界へ発信

紫波町



IT
サポートセンター

8月1日オープン

インターネットの利用、パソコンのトラブルなどの相談に応じるITサポートセンターが八月一日、日詔商店街にオープンしました。開所式では所長を務める檜山稔さんはじめ七人によるテープカットが行われ、来賓として訪れた県立大学ソフトウェア情報学部教授の船生豊さんからは町が先進的活動を積極的に取り入れていることを賞賛する祝辞がありました。

無線LANで自由にインターネットできるホットスポットもあり、夏休み中とあって学生をはじめ、開所式直後からさっそく訪れる人の姿が多く見られました。

インターネットやパソコンに興味のある人は気軽にのぞいてみてください。

■開設日 水曜から土曜、午後一時～九時／日曜 午前十時から午後六時三十分

(月・火曜日は休み)

■場所 日詔商店街「なんバザ・ホール」

詳しい内容や講習の申込／紫波町 ITサポートセンター

Tel/Fax 676-6558

e-Mail isc.shiwa@iris.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www9.ocn.ne.jp/~it-shiwa/>

※お詫び 紫波ネット 8月号おしらせ版の紫波町 ITサポートセンターの電話番号が間違っておりました。おわび申し上げます

8月分の IT 講習日程

■内容 ホームページ作成講座(初級)

12 時間 (3 時間×4 回) で、簡単なホームページを作成し、希望する人は無料でインターネットに公開することができます。

個人や各種サークル、団体、町内会などのホームページを作って情報発信をしませんか。

■日時 8月28日(水)～31日(土)、午後2時～5時

■対象 ホームページ作成専用ソフトを使用しますので、ワープロ初心者程度の人ならどなたでもできます。

■定員 10 人(定員になり次第締切)

■費用 1,350 円(テキスト代)

スタッフの
北田です。
僕たちがサポート
しますので、
気軽に立ち寄って
ください



紫波町 IT サポートセンターのホームページ。利用案内やアンケートなどのページがあります。



平成 14
年度中期

スポーツ教室に みんなで参加を

8月21日受付開始

各教室は初心者・初級者が対象で、基本を中心に指導します。各教室とも定員になり次第、締め切ります。

※開講 2 日前までに、5 人以上の申し込みがない教室は開講しません。

※参加料にはスポーツ安全保険料が含まれています。

■申し込み・問合せ 8月21日(水)から総合体育館窓口で受付。問合せは ☎676-2650 有線01-3163

教室名	場所(時間)	日程	対象(定員)
ソフトテニス教室	運動公園テニスコート(10:00～12:00)	8/27～10/29、毎週火曜10回	一般成人(20人)
ナイターテニス教室	運動公園テニスコート(19:00～21:00)	8/28～10/30、毎週水曜10回	一般男女(50人)
エアロビクス教室	総合体育館(19:00～21:00)	9/3～11/5、毎週火曜10回	16才以上の男女(50人)
ゴルフ教室	会場未定(19:00～21:00)	9/10～10/11、毎週火・金曜10回	一般成人(20人)
水中運動教室	ラ・フランス温泉館(19:00～21:00)	9/5～11/7、毎週木曜10回	16才以上の男女(30人)
ニュースポーツ教室	総合体育館(19:00～21:00)	9/14～10/12、毎週土曜5回	小学4年生以上(30人)
ちびっこサッカー教室	サン・ビレッジ紫波(14:00～16:00)	10/5～12/14、毎週土曜10回	小学4年生以下(40人)

花づくし
の一日を

盛岡でいわて 花メッセ 2002

ガーデニングやカジュアルフラワーにもっと親しんでもらうため、花の国づくり岩手県協議会では「いわて花メッセ 2002」を開催します。ガーデニングから花の各種利用法までさまざまなブースがありますので、皆さんでお出かけください。

■日時 8月24日(土)・午前11時～午後4時、8月25日(日)・午前10時～午後3時

■場所 プラザおでって(盛岡市)

■入場料 無料(ただし催し物の材料費などは有料)

■問合せ・申込 花の国づくり岩手県協議会(県流通課内) ☎629-5731

楽しく
おいしく
学ぼう

牛肉消費者 ツアーを実施

町では、BSE に関する知識を深めていただくため「も～っと知ろう牛肉消費者ツアー」を開催します。このツアーは、町内の畜産農家や(株)いわちく、食肉衛生検査所を見学するほか、昼食はフルーツパークで黒毛和牛の炭火焼肉を予定しています。ぜひご参加ください。

■日時 9月10日(火)、午前9時～午後2時

■集合場所 J A いわて中央本所 駐車場

■参加料 1,500 円(先着 25 人まで)

■問合せ・申込 農林課農林振興室 ☎672-2111 内線 335 有線 01-8822

みんなて
考えよう

講演会「これ からの図書館」

「図書館を考える会」では、町の図書館のあり方を考えるため、「これからの図書館」と題した講演会を開催します。講師は県立図書館長の相原康二さんです。無料ですので、お誘い合わせのうえ、お出かけください。

■日時 8月31日(土)、午後1時30分～3時

■場所 中央公民館

■問合せ 「図書館を考える会」事務局(日詰公民館内) ☎672-3372 内線 40

不慮の
事故防止

応急処置と 心肺蘇生法講習

「元気はつらつ紫波計画」実践行動として不慮の事故防止のため講習会を開催します。

内容は止血の方法、具合が悪いと

きの体位、心停止のときの応急処置です。日々の生活の中で、役に立ちますので、ぜひご参加を。

■日時 9月9日(月)、午後1時30分

■場所 保健センター

■対象 一般 先着 30 人

■問合せ・申込 8月30日までに保健センター ☎672-4522 有線 01-8911

いざとい
うときの
ために

盛岡赤十字病院の 「救急の日」の催し

盛岡赤十字病院では、次の日程で救急患者への応急手当と救急蘇生法の講演会、講習会(無料)を開催します。

■日時 9月9日(月)～12日(木)、午前11時～正午

■場所 盛岡赤十字病院1階ホール

■問合せ 盛岡赤十字病院医療社会事業部 ☎637-3111 内線 380

自慢の作品を応募!

県から作文とポスターの募集

県では、障害者に対する理解と、すべての人が共に生きる地域社会づくりの促進のために、心のふれあいをテーマにした「心の輪を広げる体験作文」と「障害者の日のポスター」を募集しています。

■**締切** 9月2日(月)

■**応募・問合せ** 県障害保健福祉課
☎629-5447

■**「心の輪を広げる体験作文」**「出会い、ふれあい、心の輪～学校、職場、地域であなたの体験を広げよう～」をテーマに小学生部門・中学生部門は原稿用紙2～4枚、高校生部門・一般部門は同4～6枚

■**「障害者の日のポスター」** 小学生部門・中学生部門(高校生、一般部門はありません)とも、原則画用紙B3版(364mm×515mm)か四つ切り(382mm×542mm)の用紙を縦長に使用。色彩や画材は自由 ※作品が指定のサイズに満たない場合は、前記いずれかの用紙に貼り付け応募

職員採用試験

盛岡広域の消防職募集

盛岡地区広域行政事務組合では、平成15年度に採用する消防職員の採用試験を、次のとおり行います。

■**対象** 高卒(平成15年3月卒業見込みを含む)＝昭和54年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた男性／大学または短大卒業(平成15年3月卒業見込みを含む)＝昭和52年4月2日以後に生まれた男性 ※身長、体重などの標準体位についても規定があります。

■**試験日** 10月6日(日)、午前10時～

■**会場** 盛岡市総合福祉センター(盛岡市若園町2-2)、盛岡中央消防署(盛岡市内丸8-5)

※合格者は2次試験あり

■**申込方法** 盛岡地区広域行政事務組合か紫波消防署にある申込用紙に記入し申込 ※8月26日(月)～9月20日(金)まで受付

■**問合せ・申込** 盛岡地区広域行政事務組合事務局 ☎651-2553

加入手続き、もうお済み?

交通災害共済加入のお知らせ

平成14年度交通災害共済の金融機関での申込期日締め切り日が迫ってきました。いざというときのため、皆さん忘れずにご加入ください。

交通災害共済の内容

- 共済掛金＝1人400円
- 対象事故＝交通人身事故(自転車事故含む)
- 共済期間＝8月1日から翌年7月31日までの1年間
- 加入資格＝町内に住民登録または外国人登録をしている人
- 加入手続＝銀行、農協(郵便局、漁協を除く)から直接加入(申込用紙は上記金融機関に準備してあります)

金融機関での加入申込取扱期日

8月31日(土)まで

■**問合せ** 総務課消防安全対策室

☎672-2111 内線315、316

有線01-8932

国際ワークキャンプ日程表		
月	日	内 容
9/3	(火)	ワーク・赤沢小学校(8:40～15:30)
9/4	(水)	ワーク●紫波フルーツパーク(9:00～16:00)
9/5	(木)	ワーク●紫波フルーツパーク(9:00～12:00)
9/6	(金)	ワーク・赤沢小学校(8:40～15:30)
9/9	(月)	ワーク・佐比内小学校(8:40～15:30)
9/10	(火)	ワーク・星山小学校(8:40～15:30) ディスカッション・勤労青少年ホーム(19:00～)
9/11	(水)	ワーク●紫波フルーツパーク(9:00～16:00)
9/12	(木)	ワーク・赤沢小学校(8:40～15:30)
9/13	(金)	さよならパーティ・中央公民館(18:30～)

※表内の「ワーク●」は農作業のことで。

ご参加ください

国際ワークキャンプ開催

世界の若者と交流できる「国際ワークキャンプ・紫波2002」が9月1日(日)～14日(土)まで行われます。これは国際ボランティア事業で、いっしょに生活しながら国際理解や地域交流、農作業体験に取り組むもので、今回チェコ、韓国、スペイン、フランス、イギリスから8人ほどが来町し、左の日程でさまざまな活動を行います。皆さんも最寄りの会場にご参加ください。

■**問合せ** 国際ワークキャンプ実行委員会 ☎672-2111 内線311 有線01-8932

産直センターあかさわ

隣接する工房でしぼった熟成の味
リンゴ&ブドウジュース

道の駅に隣接するのが産直センターあかさわ。おなじみの夏野菜に混じり、ズッキーニやゴウヤ、緑のナスなど、変わった野菜が並びますが、これから出てくるのがブドウを筆頭とした果物たち。最盛期にはちよつと早いですが、産直センターあかさわでは、隣接する工房で作った果物のジュースが販売されています。珍しいシソや梅を使ったものあり、キャンベルやポートランド、スチューベンなどのブドウジュースあり、フジやジョナゴールドなどのリンゴジュースありと、とにかくバラエティ豊か。もちろんそれぞれ味に特長があり、ブドウジュースは熟成させて酒石酸も取り除いています。キリッと冷やしていただければ、一足早い秋の味が楽しめます。



【産直センターあかさわ】
遠山字松原7-1
☎676-5201
午前8時～午後6時30分
無休



このジュースを使ったフローズンサーバー（半凍結状態のジュース）も産直センターあかさわの人気商品。多いときには100杯以上も売れるとか。



「おかあさんから、おやつに買ってもらった大好きなせんべいをかきました」と利彦くん。バックはてるてる坊主の頭に絵の具をつけてぬりました。

【作品名】ぼくおおきな
おせんべいたべたよ

佐々木利彦くん(1年)



【作品名】
弟と

はみがきしたよ

阿部剛士くん(3年)

「歯ブラシを持つ手を描くのがむずかしかった」と剛士くん。弟もいつもきちんと歯みがきしているので、虫歯はありません。



キッズ
ギャラリー
星山小学校